

自主防災組織名	地区訓練		実施した訓練内容				訓練以外に行った防災活動		
	実施日	参加人数	避難訓練	土のう作成訓練	情報伝達訓練	その他	各家庭への啓発活動	防災マップ作り	その他
三田自主防災会	R6.11.17	250	全世帯参加による安否確認タスキ大作戦を実施した。地震発生を想定して、町内放送を行い、各戸が家族の安全を確認して、玄関先等に黄色いタスキを掲示する訓練を行った。			一時避難所である三田公民館とその周辺で防災訓練を実施した。参加者が3班に分かれて①非常用設備探検ツアー、②危険個所の地図への落とし込み、③応急手当ワークショップ、④炊出し訓練、⑤水消火器を使った動作訓練の全メニューを順番に巡って体験した。訓練の最後には全参加者が一堂に会し非常食の試食会を行った。	防災訓練実施後、全戸を対象に防災意識に関するアンケート調査(香川大学の協力)を実施中である。		
明西自主防災会	R6.9.26	130	企業の協力(地元)で避難訓練をした。	地元の漁師の協力で作成した。	回覧板を回した	各家庭を回った。	民生委員を訪問して、啓発活動をした。		
押山町内会自主防災会	R6.11.3	35				救急法講習 心肺蘇生とAEDの使い方 応急手当 11/17防災講演会(出前講座)			
東塚自主防災会	R6.10.13	57		スムーズに土のう袋が作れるように、作成を訓練した。防災士の指導の下、スムーズに作成できるようになったと思われる		非常食として、アルファ化米の作成、非常用炊飯を訓練し、カンパンとともに参加者全員で試食した。作成時間測定など有意義な情報が共有できたと思われる。			
吹上自主防災会	R6.10.6	10			LINE等で繋がるようにする	白地図に危険箇所を書き出す(倒壊の危家)		各家庭に配布の防災マップの見直し	車の交通上見通しの悪い箇所の草刈り
浜南1町内会自主防災会	R6.11.10	6	7時30分に地震が発生した想定して避難訓練を実施(11月初めに回覧にて町内会15世帯に通知済) 当日は15世帯中6人が本荘公民館に集合 初めての避難訓練として感想と公民館以外の避難場所の確認と各家庭の準備状況確認などを話し年1回以上は避難訓練を実施して情報共有の必要を確認しました。				回覧版での資料配布		
陽海山自主防災会	R6.11.16	9	災害を想定して、町内会長、防災会長、避難誘導班長、避難リーダーが誘導棒を点灯して各世帯の災害状況、安全を確認して回り、集会所に集まり、状況を連絡報告。町内全体の安全かつほの確認を行った。						避難行動要支援者、見守り人を各班に知らせ、確認を行うのと、集会所の普段からの備え、非常食、水、食料、防災グッズの点検と確認を行う。
堤下自主防災会	R6.11.10	35				マイタイムライン検討ツールを使い、いざという時の行動を考えた。また、町内から支給している防災グッズの点検。	各地域の誘導班長を通して、まさかの時のタイムラインについて考えてもらうように依頼した。		
神田4丁目自主防災会	R6.11.24	45	朝9時に町内放送で避難開始を連絡。参加者は徒歩で連島中学校へ避難。その後、校舎への避難要領を説明。	水島消防署に協力していただき、作成要領、積み方を指導していただいた。		消火器の使い方 カンパン、アルファ化米の試食	市から提供された資料を町内回覧し、周知した。		
月之木町内自主防災会	R6.9.26 R6.12.15	29 22	実施			実施	実施		9.26持ち出し品アンケート調査・出前講座 12.15
箭田六通学区自主防災会	R6.11.10	58			箭田まちづくり連合防災会がくらしき防災フェアに合わせて実施した 伝達訓練・安否確認に6通学区自主防として参加	伝達訓練の中で、住民の皆様にくらしき防災フェアへの参加を呼び掛けた(64世帯中、58世帯に伝達できた)			
宇頭間金濱自主防災会	R6.11.2	39	9時より地区放送・地区により2か所へ避難訓練		放送後、避難リーダーが自分の受け持家を周り避難場所へ誘導	避難訓練の大切なことの説明、市からの配布資料を配布			
中津自治会自主防災会	R6.9.6 R6.9.26	1 100	①万寿東学区住民協主催:段ボールベッドづくり・マンホールトイレ組立・小学生と共に垂直避難訓練 ②市主催(全市一斉訓練):テーブル下への避難(約2分間程)町内の人へ啓発					①及び②共町内各ゴミステーションへポスター等貼り参加をお願いした。	
茶屋町第二町内会自主防災会	R6.11中旬	100					日頃の備えの啓発チラシ		アルファ化米、カンパン類の各家庭の配布
連島2丁目自主防災会	R6.9.8	31	・各地域から連島東小学校に避難 ・消防署員による講話 ・高齢者支援センターによる避難時の体操を行う			・防災用品展示 ・新聞スリッパ・ボンチョ・ダンボールスツール作り	全市一斉地震対応訓練(9/26900～)傘下の呼びかけを行う		

自主防災組織名	地区訓練		実施した訓練内容				訓練以外に行った防災活動		
	実施日	参加人数	避難訓練	土のう作成訓練	情報伝達訓練	その他	各家庭への啓発活動	防災マップ作り	その他
広江スカイタウン地区自主防災会	R6.9.14	15	届出避難所の集会所に集合して過去に起きた災害を見て恐ろしさを知る。避難の大切さを知る。アルファ化米・乾パンを配布しました。		庁内連絡網にて8/29、9/1ゴミO中止連絡 11/6不審者あり注意連絡。戸締りするように伝えました。		4/20(土)通常総会の資料に「避難カード」をつけて配布しました(98世帯)。		
茶屋町早沖中部自主防災会	R6.9.28	17		早沖公園で、土のう各自5袋ずつ作成した。それを各自持ち帰った。					
福島公民館自主防災会	R7.2.16	30				水消火器、防災備蓄品展示、AED救命法、地震体験車(万寿東学区自主防災会実施のものに参加)			
玉島黒崎本村南自主防災会	R6.11.17	50	防災危機管理室出前講座を実施。好評であった。訓練開始の放送を2か所から時間差で行った。		町内会連絡網による電話伝達と班内への声掛け	参加者全員にアルファ化米、ペットボトルの水、焼鳥又は鯖の缶詰を配布した。	自主防災会役員会を町内会班長に合わせて開催。回覧板で町内に周知。		非常持出袋を携行。参加者2名の中身を紹介。
玉川町自主防災会	R6.10.27	34	避難場所である玉島東中まで避難グッズを持って避難した。				防災グッズのアンケート(回答36世帯)…携帯トイレ・食料等が準備できていない世帯が多かった。		
ピオガーデン倉敷自主防災会	R6.11.9	10				耐震性貯水槽の体験会へ参加			消火器の点検・交換
倉敷市浜町自主防災会	R6.11.9	80	R6.11.9(土)9時～12時南海トラフ地震について…VC会長 町内大雨時の道路冠水状態の映像を見る、対策について 非常食・蒸しパンを作り、試食する(全員で)	R6.10.27(日)10:30～12:00 土嚢の作成訓練を体験する。倉敷市災害ボランティアコーディネーター協議会3人のご協力を得て実施。浜町町内会の参加者15名、約150袋を作成した。	自主防災組織の避難訓練連絡表に基づいて、TELによる伝達訓練を実施した。8:00～8:15想定は震度6弱の地震が発生、警戒レベル4が発令、避難開始…避難所は万寿小学校。		防災に関する情報の回覧	町内まち歩きを行い、危険箇所を洗い出しを実施(15名参加)町内ハザードマップを作成する	マンホールトイレ(万寿小設置)の取り扱い説明の実施(万寿小副校長・町内会役員6人)使用マニュアルの作成をする。両方で保管する。
吉岡地区自主防災会	R6.10.19 R6.10.20	130				防災キャンプを実施	町内会への案内配布		
浜ノ茶屋1丁目自主防災会	R6.9.29	25					避難誘導リーダーを対象に、『防災と避難』と題して座学を催した。その後5グループに別れディスカッション。最後に、グループ毎にまとめ発表。高齢者が多いので、平時の声掛けの必要性が挙げられた。		
西田自主防災会	R6.12.21	7		積土のう訓練	発電機(2.5kw1台1.8kw2台)投光器2台による作動訓練。災害時の避難場所である西田公民館の屋外コンセントに2.5kwの発電機からコードを接続し館内の点灯を確認、また、夜間の土のう作成積土のうに備え2台の1.8kwの発電機から2台の投光器にコードを接続点灯確認。				
沙美中の中自主防災会		30	避難経路の確認		避難場所の確認				避難用品の配布
沙美野呂東地区自主防災会	R6.10.13	21	津波対応、避難場所(一時、黒崎中)の確認、ハザードマップによる説明、各班のメンバー確認		「向こう三軒両隣」の意識づけ。班長の行動確認。		避難後の留守宅を記すサインについて討議。タオルかけは盗難誘発のおそれ、テープを貼るなど(未決定)		
柳田西側自主防災会	R6.11.10	103	14世帯を4避難誘導班に分けて、更にそれを1グループ(8～9人)で25グループリーダーの組織で一時避難場所から避難場所までの避難訓練	土嚢袋へビニール管を利用しての砂入れ及び積み方を経験者の指導の下、子供から年配者まで実演	グループ毎に、未参加者の玄関の「避難カード」掲示確認	児島消防署の応援を得て、AEDの使い方及び簡易タンカーの作り方、運搬訓練実演。簡易トイレの展示。その後、誘導班長の下4班に分かれて意見交換会	防災訓練の各家庭用案内用紙に「南海トラフ地震臨時情報」「避難に関する注意事項」等を掲載し各家庭に配布して注意喚起をした。	過去に作成済み	過去に各家庭の井戸の有無調査
西阿知南連合自主防災会	R6.6.23	23				防災教育:真備水害DVD鑑賞、西阿知に特化した防災教育、高梁川の対策など 10/4西阿知小学校区防災教育、11/4西阿知愛育防災教育(副会長)	教育資料41部作成回覧	西阿知小学校区で冠水マップ作成	西阿知地区冠水対策で西部排水路藻狩り(水工前から西阿知変電所間8月20日～21日)
倉敷市笹沖自主防災会	R6.10.19	40	防災キャンプと銘打って体育館(避難所)に避難して一泊して翌日帰る(30名)ことを初めて実施した。				体育館での体験が無理の人は、自宅が避難所として訓練をした。	各地域の危険箇所を探して地図に記入するようにした。	
羽島北浦自主防災会	R6.11.9	88	9:00防災会長より各班長に訓練の電話→各班長より避難誘導リーダーに電話→緊急連絡網の先頭に電話→連絡網それぞれ電話→各Gr.班長に最終連絡→9:22～9:38で連絡完了→北浦遊園地へ避難完了→9:40頃				北浦自主防災ニュース(6月・12月)発行している。今回18号全戸約180戸へ配布している。		
川東自主防災会	R6.9.26	35	倉敷市一斉地震対応訓練も行う。				倉敷市一斉地震対応訓練のパンフレットを各家庭に配布し、自身に対する認識を再確認した。あわせて火災警報器のパンフレットも配布した。		
児島御幸通り自主防災会	R6.10.27	15	土のう作りをしました。袋を広げる人、土を入れる人、袋の口をしぼる人と役割を分担してスムーズに作成することができました。						

自主防災組織名	地区訓練		実施した訓練内容				訓練以外に行った防災活動		
	実施日	参加人数	避難訓練	土のう作成訓練	情報伝達訓練	その他	各家庭への啓発活動	防災マップ作り	その他
倉敷市西阿知町新田自主防災会	R6.11.10	60				危機管理室よりお借りしたDVDを観賞し、意識を高めた	各戸に緊急連絡カードと非常食を配り、災害時の意識を高めてもらった。		
矢柄住宅町内自主防災会	R6.9.15	30	連島東地区合同避難訓練(集合場所＝連島東小学校体育館)						
バスコタウン福島町内会自主防災会	R6.12.8	24		集まりやすいよう、一斉年末大掃除の後に引き続き実施。		簡易担架体験(市よりぬいぐるみを借りて実施)			訓練時ちらし(別添)を配布して説明。
久保自主防災会	R6.9.26	30					訓練開始に合わせて頭を守る姿勢をとる市広報を全戸回覧		安否確認名簿の見直しを行った。非常食の試食
倉敷福島北一区自主防災会	R6.11.10	84	ただ集まるだけにならないように、災害規模を設定して、避難用品を必ず持参してもらい、本番を意識して実施しました。				避難用品の確認及び準備の呼びかけ		出前講座(南海トラフ大地震について)の開催
曾原自主防災会	R6.11.17	23		2人ペアで土のう作成	新しいメンバーでの組織発表・メンバーに民生委員・栄養委員・婦人会を加える	防災機材の点検(電池切れ・液漏れあり、交換)	日ごろの備え資料配布	防災まち歩きで紹介、空き家が増えているのでマップに記入(3グループ)	非常食の試食
天城かえて団地自主防災会	R6.9.26	50	南海トラフ地震を想定した避難訓練を実施した。避難場所は、団地内の第2公園とし、9時を合図に防災委員が町内を回って避難を大声で呼びかけ避難に手間がかかる人の支援を実施した。避難場所では、5つの班ごとに人員点呼し、各防災委員が集合状況をチェックした。また、避難に合わせ、非常持出品を持参してもらった。					当団地は水害被害の心配はないが、大地震の際に発生のおそれのある火災及びそれによる類焼を抑える必要がある。そのための意識啓発を逐次実施している。	
児島赤崎中筋自治会自主防災会	R6.11.4	40	黄色いタオルの掲示活動 アルファ化米100個、カンパン、米はおにぎりにして試食(賞味期限の切れそうな物を使用)		水害、溜池決壊による水害時のハザードマップの確認及び液状化地域の確認、非常時の持出品、備蓄品一式の陳列と説明	水消火器10本実施訓練、ポンチョ作りの指導と効果説明、毛布を使つての担架作りと活用の実施	午前8時に黄色いタオルの掲示活動	溜池決壊時の影響地域とその所要時間の説明、地震時の液状化発生地域のマップ掲示。地域における自主防災会員の募集。防災に関するアンケート調査	
新田自主防災会	R6.9.29	278	実施				実施	実施	
倉敷田ノ上自主防災会	R6.12.8	8		土のう袋への紫外線・風雨による劣化対策として、ブルーシートの2枚重ねを施した。又、劣化が進んでいるもののまだ耐用できそうな土のうには袋を2重にした。				市が実施している耐震診断・工事補助の基準の告知	
浜ノ茶屋二丁目自主防災会	R6.11.3	約40	届出避難所へのルート確認と備蓄品の補充				倉敷消防署職員による一次救命処置訓練(心肺蘇生とAED)	回覧等で災害時の対応について周知した	
川入町内自主防災会	R6.11.3	40				防災推進課の職員さんに来ていただき「想定カードゲーム」を4グループに分かれて行いました。広報くらしきに入っていた折り込みを参考に、非常持出品を持参してもらいました。			
昭和二丁目町内会自主防災会	R6.12.8	25			内水氾濫の危険性と避難場所の確認。白地図を利用して避難経路を考えた。簡易トイレの作り方、非常食の正しい利用方法の説明。			普段町内活動に参加されない住民の情報を共有し、見守りをお願いした。	
倉敷市下庄地区自主防災会	R6.12.1	15		3人一組で50袋の土のうを作成した。					
柳井原小学校区自主防災会	R6.5.26	300	洪水による届出避難所が無い場合、水防センターを、第1次的として、避難所と想定して避難訓練を実施した。(約300名)				・地滑り、がけ崩れによる危険箇所の見回り、調査。(令和6年11月16日) ・消防職員による救急法の訓練。(令和6年11月16日) ・小学校区の住民が水防センターへ約300人避難訓練した。 ・炊出し訓練(カレーライス、約300食)		地震に備えて家具の固定、火の取り扱いの注意、各家庭の火災警報器の設置、水害&地震時の避難について各家庭で話し合いをすることを全戸に回覧した。
岸の上自主防災会	R6.10.6	10	自宅から避難所まで徒歩で各自移動集合した。				・9/29の西山教授の話をもとめて記載した紙を各自に配布し、話をした。 ・住宅用火災報知器の設置について説明し未設置者には設置を促した。	上記6のその他欄に記載の内容に併せ、耐震診断とその補強、市の補助等の話をした。	

自主防災組織名	地区訓練		実施した訓練内容				訓練以外に行った防災活動		
	実施日	参加人数	避難訓練	土のう作成訓練	情報伝達訓練	その他	各家庭への啓発活動	防災マップ作り	その他
駅前四丁目自主防災会	R6.11.3	40	A班(歩行が困難な人)児島駅 18名 B班 新庄八幡宮 22名 (上野補足)歩行が困難な人とそうでない人で避難場所を分けて訓練した。						
角・鎌田自主防災会					グループラインによる安否・被災状況・避難状況の確認		実施		
鶯ヶ丘町内会自主防災会	R6.10.11	27	災害時の避難時期や避難場所の再確認し、自助・共助・公助を学びました。中でも自助については、個々で出来ること(家具の固定、非常持出袋作成・備蓄品のストックローテーション)などについて学び防災の意識づけが出来たと思います。	出前講座の後、集会所前の公園に出て土嚢作りを行いました。			非常持出物品が掲載されたチラシを回覧しました。		町内の危険箇所がないか自主防災会役員で見回り災害の予防に努めました。
東村町内会自主防災会	R6.10.27	30	自宅から避難所までの所要時間の確認			地震発生時の行動マニュアル等の確認			
瀬戸谷自主防災会	R6.11.3	27	呉妹地区まちづくり防災班との地区防災(避難訓練)への参加						倉敷市一斉地震対応訓練への参加、呉妹地区自主防災組織意見交換会への参加
中庄天神団地自主防災会	R6.11.16	36				①町内周辺地区通路の危険箇所チェックと写真撮影、マップへの記入、 ②集会所(届出避難所)での炊出し訓練、トン汁炊出しとアルファ米(市提供)の試食	町内への回覧での訓練参加の案内	7/26防災推進課による出前講座で町内周回、11/16自主防災会主催で周辺町内へ拡充	
西原地区自主防災会	R6.9.4	81(全体1800)	西阿知幼稚園・小学校と地区住民がコラボして避難訓練を実施した。1000名を超える大規模校の為、生徒・園児と一緒に行動するのは困難と考えて各町内会には人数を絞り込んでの参加をお願いした。参加者には避難経路の危険箇所を確認してもらいながら避難をしてもらった。小学校では自動・園児の日案の様子の見学・マンホールトイレ・備蓄倉庫などの見学を実施した。			今回初めて小学校・幼稚園との合同避難訓練を実施したが、開催するにあたり事前に学校・市と三者で打ち合わせを行いそれぞれの実情と状況が共有できたのは良かった。また、反省会で次年度への取り組み課題やそれぞれの組織の問題点など把握できたのは良かった。	各家庭へ今回の避難訓練の様子と情報を「西原タイムス」という広報誌を作成して配布回覧を行い共有化と各家庭における防災意識の向上に務めた。		
宝ヶ丘自主防災会	R6.10.20	193		土嚢作成訓練で土嚢袋の傾け方、砂を入れる量、袋の結び方及び土嚢袋の置き方(水の流れ方に応じて向きを変える)や積み方を参加者全員で知識を共有して50個作成及び倉庫に保管	一人当たりの安否確認者を10人以下にして各区の責任者が「無事ですタオル」を道路から見える位置にかかっているかをチェックリストに記入し、防災リーダーに報告をして集計後にかかっている家を訪ねて無事かどうか確認しました。また、集計結果をその日に作成して即回覧。		情報伝達訓練の実施方法の回覧と2ヶ所の掲示板に掲示		
中村自主防災会	R6.10.27	9					家庭での防災対策の勉強会(家具の固定、備蓄品、非常食、非常持ち出し品)	町内の危険箇所の見回りを実施	